

「デュシタニ京都・植柳コミュニティセンター」

Dusit Thani KYOTO & Shokuryu Community Center



南東側ファサード

■文化の協創と『対比と共存』

長い歴史と伝統を有する京都の中心地にできる建築としてふさわしい設えは何かを常に考え計画しました。ホテルは、高さと容積率の制限の中、地階には“地下であることを感じさせない”緑あふれる明るい中庭とドライエリアを設置することで、ラグジュアリーホテルとしての豊富な共用部を計画しました。エクステリアは伝統を紡ぎ将来へ繋ぐデザインとして、袖壁によるモジュールの分節、シンプルな軒垂木と格子、伸びやかな水平ラインの底で表現し、インテリアはタイ、日本の二つの伝統文化の共創と相互につながる文化を読み解いたデザインとして、内装デザイナーと協力し独創的な空間を造り上げました。

■構造種別の適材適所化

建物高さ制限があり、かつ敷地いっぱいに建物が計画された中、地上4階地下2階に用途を納めていくことに苦労しました。建物全体としてはRC造にて計画しましたが、地下1階ファンクションルームの約12m スパンはSRC造、地域施設用途はS造とするなど適材適所に構造種別を採用しました。本体のRC造部分においては、直接基礎のメリットを生かし、地上部において廊下部分の短スパン大梁を取りやめることで、設備配管や梁貫通の自由度を向上させ、意匠プランと設備計画を融合した建物とすることができました

■省エネと美観を兼ね備えた設備計画

設計当初は中央熱源方式の空調計画でしたが、インニシャルコストやランニングコストの優位性などをお客様やホテルサイドの方々に説明し、水冷PAC方式に変更しました。それによりコスト削減、納まり改善、省エネ性能向上に寄与することができました。デザイナー等による変更が多数あり、照明計画等工程ギリギリまで調整した大変さはありませんでしたが、ホテル案件では実績の少ないZEB Oriented 取得に大きく貢献することができました

文化交流が生まれるインターナショナルな五つ星ホテル
伝統文化の融合による新たな魅力を発信し、



地下1階を感じさせない明るい中庭



客室



地下2階プール



1階ロビー

■ PROJECT DATA

所在地 京都市下京区
主要用途 ホテル、地域施設
設計・監理 戸田建設株式会社一級建築士事務所

敷地面積 4696.04㎡
建築面積 3797.34㎡
延床面積 17359.24㎡
階数 地下2階／地上4階
構造 RC造、S造一部SRC造
竣工 2023年5月

■ PROJECT MEMBER

PM 中村 智
意匠 荻田 真士 八木 和憲 塚本 あかね
構造 中村 匠 倉持 真也 佐藤 弦太
設備 毛利 広宇